

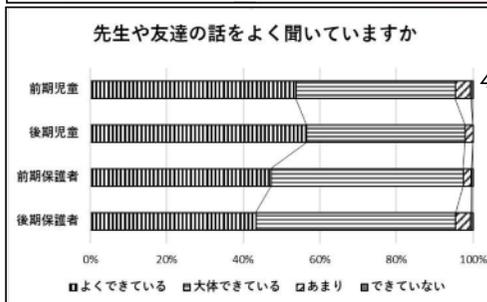
ときわぎ

3月特別号

令和4年3月15日
京都市立常磐野小学校
校長 佐伯 卓也

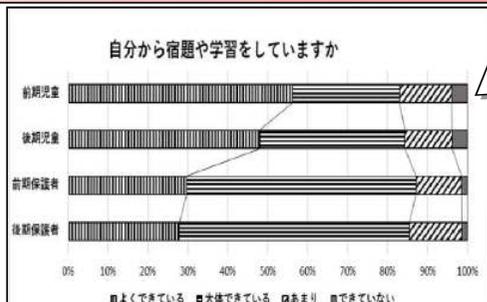
令和3年度第2回アンケート結果について

第2回アンケートの結果をお知らせいたします。お知らせが大変遅くなり申し訳ございません。保護者の皆様には、お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。



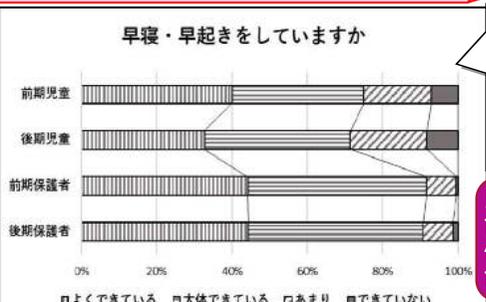
児童：学校で先生や友達の話をよく聞いていますか。
保護者：ご家庭で、先生や友達の話をよく聞くようお声かけをしておられますか。

児童 97%
前期より↑(2%)
保護者は 95%
前期より↓(2%)



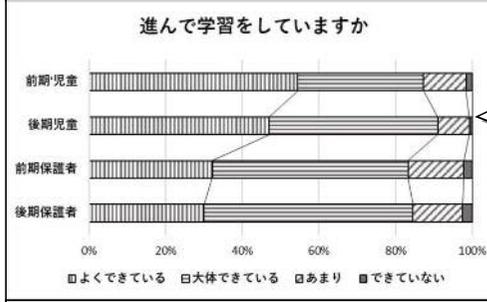
児童：家で、自分から宿題や学習をしていますか。
保護者：ご家庭で、家庭学習の習慣がつくように、働きかけておられますか。

児童 84%
前期より↑(1%)
保護者 85%
前期より↓(2%)



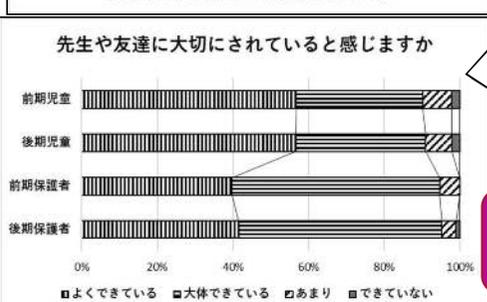
児童：早寝・早起きをしていますか。
保護者：ご家庭で、お子さんが早寝・早起きをするように働きかけておられますか。

児童 72%
前期より↓(3%)
保護者 91%
前期と同じ→



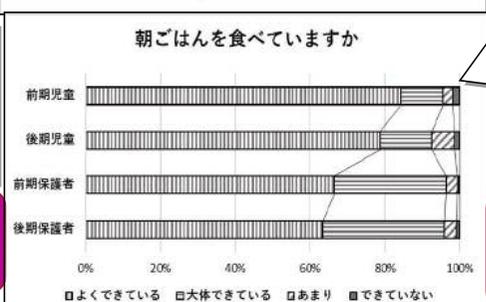
児童：授業中、進んで学習をしていますか。
保護者：お子さんは、学校での勉強を楽しんでおられますか。

児童 91%
前期より↑(4%)
保護者 84%
前期より↑(1%)



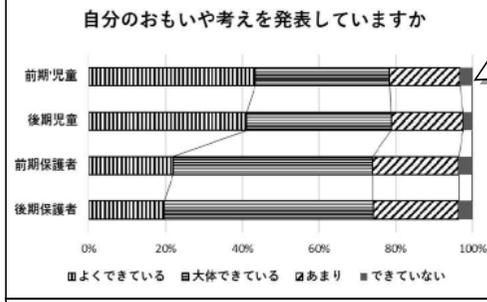
児童：自分は先生や友達に大切にされていると感じますか。
保護者：お子さんは、先生や友達から大切にされていると感じておられますか。

児童 91%
保護者 95%
いずれも前期と同じ→



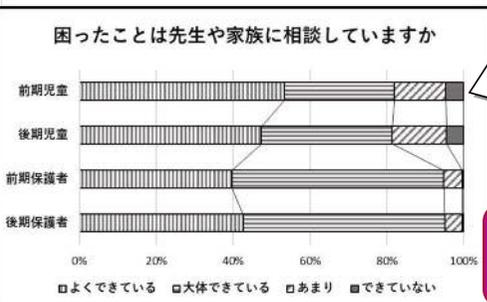
児童：朝ごはんを食べていますか。
保護者：ご家庭で、お子さんがしっかりと食べるように働きかけておられますか。

児童 93%
前期より↓(2%)
保護者 96%
前期と同じ→



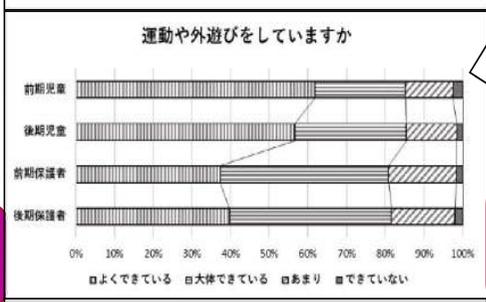
児童：授業中、グループやみんなに自分のおもいや考えを発表していますか。
保護者：お子さんは、学校での勉強で自分のおもいや考えを発表していますか。

児童 79% (0.6%↑)
保護者 74%
いずれも前期と同じ→



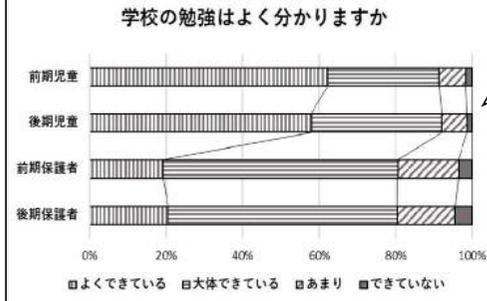
児童：困ったことは、先生や家族に相談していますか。
保護者：ご家庭で、お子さんが話しやすい雰囲気をつくっておられますか。

児童 81%
保護者 95%
いずれも前期と同じ→



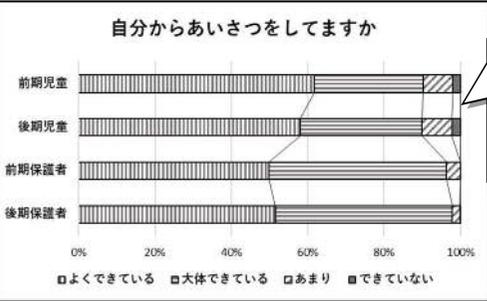
児童：運動や外遊びをしていますか。
保護者：ご家庭で、お子さんが適度に運動や外遊びをするように働きかけておられますか。

児童 86%
前期と同じ→
保護者 82%
前期より↑(2%)



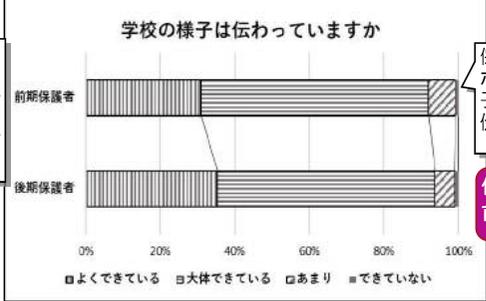
児童：学校の勉強はよくわかりますか。
保護者：お子さんは、学校の勉強をよくわかっておられますか。

児童 92%
保護者 82.2%
いずれも前期と同じ→



児童：自分からあいさつをしていますか。
保護者：ご家庭で、お子さんがすすんであいさつをするように声かけをしておられますか。

児童 90%
前期と同じ→
保護者 98%
保護者は↑(2%)



保護者：学校便りやホームページ等で、子どもたちの様子は伝わっていますか。

保護者 93%
前期より↑(1%)

『確かな学力』の育成に向けて

「先生や友達の話の間こ」「すすんで学習しよう」という意欲が高まりました。「学校の勉強がよく分かる」「自分から宿題や学習をする」という質問に対し、わずかながら1%だけポイントが上がりました。3～6年生は、算数科における少人数学習をすすめ一人一人の確かな理解を大事にしました。また、校内研究で、算数科の学習について研修をすすめ、低学年からの学びの大切さについて教員で話し合いました。2学期からは、授業の中で本格的にGIGA端末を効果的に使いました。調べたいことについてじっくり調べたり、育てているお米など写真を撮って前の様子と比べたり、GIGA端末を使って聞き手に写真や図や文字を示しながら発表したり、子どもたちはとても上手にGIGA端末を使って学習をしました。算数科ではデジタル教科書の図を動かせたり、図を使って友達に考えたことや分かったことを話したりするようにしました。一人1台の端末があることで、じっくり活用することができ、学習に対する興味関心を高めることができたのではないかと考えます。一方で、「おもいや考えを発表する」という質問に対し、前期と変わらない結果が出ており、70%台を突破できていません。一人一人の思いや考えを確かなもつための手立てを工夫するとともに、声に出し、言葉で説明したり話したりする姿を求めたいと思います。子どもに自信をもたせ、子どもたち一人一人が「話を聞いてもらえる」「寄りそってくれる」というおおいを学校でも家庭でももつことができるようにしたいと思います。

『豊かな心』の育成に向けて

2学期は、ときわぎ活動を充実させ、たてわりグループで楽しむ時間をもつことができました。3学期は、新型コロナウイルス感染症拡大により、「まん延防止重点措置」が要請されましたが、GIGA端末を使って心温まる「6年生をおくる会」を実施することができました。

また、地域の方々のご協力のおかげで、地域の先生が登場し、専門的なお話をいただいたり、町たんけんをさせていただいたり、地域の方が働くところに実際に行き行って話を聞いたり、体験的に学ぶ場で学習をすることができました。他に体験学習や社会見学なども行うことができ、子どもたちの心が動く体験的活動をすすめることができました。

11月には、学習発表会を行い、保護者の方々が見に来てくださったことで、子どもたちの大きな励みとなりました。学習発表会終了後の学年をこえたメッセージを書く活動では、発表学年の頑張りを思う子どもたちの姿が見られました。

コロナ禍ではあったものの、5年生「花背山の家」、6年生「修学旅行」は行うことができました。それぞれの取組で、子どもたちはとても貴重な経験をするすることができました。

「先生や友達に大切にされていると思うか」「自分からあいさつをしているか」に対する答えは、前期と変わらない結果でした。それぞれ91%、90%というポイントでしたが、もっとポイントが高まるようにしたいと思います。また、「困ったことは先生や家族に相談していますか」という質問に対し、81%と前期と変わらない結果でしたが、90%台になるようにしたいと思います。子どもに共感的に寄りそいながら、子どもとの対話を大切に、ともにコロナ禍を乗り越えていきたいと思います。



自由記述より

- ・「相手の気持ちを考える」「自分がされて嫌なことは友達にしない」「自分が言われて嫌な言葉は言わない」「人にやさしく」「あいさつをする」「時間を考えて行動する」など、豊かな心の育成に関わる声かけをされている記述が大変多かったです。
- ・「学校で楽しかったことを聞く」「体育参観や学習発表会など行事で楽しかったことは子どもから話すので、聞くようにしている」「学校で何をしたか聞くようにしている」「困ったことや嫌なことは、先生や親に言うこと」「結果だけにこだわらずに努力したことやその経過を含めてほめるように心がけている。できなかったけどできるようになったことなど、その練習の成果も意識してほめる」など、お子さんに寄り添い、子どもが話しやすい雰囲気づくりをされている記述も多かったです。
- ・アンケートでは、上記の他に、「ホームページの更新を楽しみにしている」「ホームページに写真が多く、子どもたちの様子がわかってよい」「行事があつてよい経験ができた」「先生と一緒に遊んでくれるのを喜んでいる」「算数の少人数を喜んでいる」「学年が上がって勉強が難しくなってきた」などの記述が多く見られ、学校としても取組の継続、新たな取組の工夫を考えていきたいと思ひます。
- ・健やかな体の育成に関わつて「外遊びの機会がない」「遊び場がない」「放課後に運動場で遊べるようにしてほしい」という記述がありました。放課後の運動場開放は延期になっていますが、放課後の他の運動の機会も大事にしたいと思ひます。

『健やかな体』の育成に向けて

前期のアンケート結果を受けて、放課後の運動場の開放に向けて準備をすすめていましたが、残念ながら「まん延防止重点措置」の要請により、実行できませんでした。しかし、日々の休み時間は、運動場で体を動かす子どもでいっぱいです。雪が積もつたときは、思いっきり雪と遊ぶ子どもたちの姿が見られました。今年度、運動会はできませんでしたが、「体育参観」という形で、全学年が団体演技に取り組み、学年の子どもたちと気持ちを合わせて力いっぱい体を動かし、運動を楽しむことができました。保護者の方々の応援を受けて、子どもたちは成就感を得ることができたようです。

一方で、アンケートでは「早寝・早起きをしていますか」という質問に対し、70%台である上に、前期より3%下がる結果となりました。「朝ごはんを食べていますか」という質問では、90%台ではあるものの、前期より2%下がる結果が出ました。朝早く起きること、遅刻をしないで登校すること、について課題が見られました。子どもたちが、「学校に行きたい」と意欲をもってすすんで早起きをし、元気に登校する気持ちをもつことができるように、学校での日々の学習や生活を充実させたいと思ひます。これからも、保護者の皆様には、学校教育にご支援ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。